

## レファレンス事例集

### ・回答

依頼者に経緯を伝え調査を終了した。

### ・情報源

- 1) Google[internet]. <http://www.google.co.jp/> [accessed 2009-06-12]
- 2) PubMed[internet]. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez> [accessed 2009-06-12]
- 3) Scopus[internet]. <http://www.scopus.com/home.url> [accessed 2009-06-12]
- 4) American Prosthodontic Society[internet]. <http://www.prostho.org/> [accessed 2009-06-12], 2007年とはURLが変更になっていた。
- 5) American Dental Association アメリカ歯科医師会 (ADA) [internet]. <http://www.ada.org/index.html> [accessed 2009-06-12]
- 6) 東海目録加盟館の人的ネットワーク

### ・補足

これも当センターのレファレンス回答集 (<http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/riyoupass/ref6.htm>) にある事例の修正である。依頼者の理解で調査を終了したが悔いが残った。学内の人的ネットワークを利用して、歯学部教員に尋ねたが即答は得られなかった。

今回の執筆にあたり、再調査をした結果、理工学講座の教員から ISO101339-1 : 2005 による定義があるとの連絡があった。

また、補綴学講座のひとつである高齢者歯科学講座からは、講座常置図書による回答等が寄せられたが、Tissue Conditioning 又は Conditioner のアメリカ補綴学会における定義はなかったため、その旨レファレンス回答集に追記した。

当センターの今後の課題として、専任職員と委託スタッフが協力し、未解決のまま調査を終了した事例の処置を検討している。

### ・ポイント

この事例は、依頼者が元非常勤講師であったため、遠慮もあって未解決のまま調査を終了することを了承したと思われる。今日では利用者からの質問を待つ受動的サービスだけではなく、利用者のニーズを作り出す能動的なサービスや従来の図書館資料の範疇を超えた情報を提供するサービス全般をレファレンスサービスと捉えることが一般的になっている。これに応えられる環境を整えたい。

(愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センター 作野 誠  
makotos@dpc.aichi-gakuin.ac.jp  
ヘルスサイエンス情報専門員 (中級))

## 事例 NO.32

### 参考文献に記載された会議録の検索例

#### ・質問

Saito D, Boku N, Fujioka T, et al. H. pylori and gastric premalignant conditions: Results of the Japanese Intervention trial. Proceedings of 4th annual AACR International Conference. Baltimore. 2005;201 「書誌表記は、教員から渡された参考文献コピーのママ」

上記文献の複写依頼および書誌確認。

[教員, 口頭受付, 2009年2月]

#### ・調査の経緯

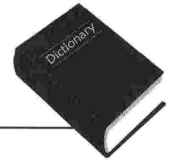
PubMedで論題や著者をキーワードに検索するが、該当文献なし。NACSIS-Webcatでタイトルを検索するが、

該当なし。

本学で「Proceedings of the American Association for Cancer Research」の2005年は、CD-ROM版を所蔵しているため確認したが、「96th Annual Meeting 2005」となっており、開催地も違っていた。該当文献はもちろん、手掛かりになるようなものはなかった。

AACR (American Association for Cancer Research) のホームページからキーワードで検索するが該当文献なし。

他館に参考調査を依頼した結果「Cancer epidemiology, biomarkers & prevention 14(11pt2)2805s 2005」に論題、著者名が同じ文献があることを教えてもらう。PubMedに「AACR International Conference Baltimore」と入力し検



## レファレンス事例集

索してみると、確かに「Frontiers in Cancer Prevention Research. Abstracts of the 4th AACR International Conference. October 30-November 2, 2005, Baltimore, Maryland, USA. Cancer Epidemiol. Biomarkers Prev. 2005;14(11pt2):2681s-2811s」という論題がヒットした。当該雑誌は当館で所蔵しているため、すぐに確認。Vol.14(11pt2)の冊子の最後にAuthor Indexがあり、著者名から該当論文が2805sにあることがわかる。文献は入手できたが、はたして「Proceedings of 4th annual AACR International Conference. Baltimore. 2005;201」の書誌事項は正しいのか。

AACRのホームページから「2005 Frontiers in Cancer Prevention Research Conference」へアクセス。ポスターセッションではないことを現物から確認していたため、Oral Presentationsを選択。ファイルが開催日時別になっているため、頁数を頼りに探した。するとTuesday, November 1 p.201に確かに該当文献は存在した。

### ・回答

AACRのホームページからPDFで閲覧できること、また同一文献が「Cancer epidemiology, biomarkers & prevention」にも掲載されていることを教員に伝える。書誌事項については、会議資料として正しいものであるが、もし参考文献として論文に記載するのであれば、他の研究者が参考文献をたどるうえで、入手が容易である

ため、「Cancer epidemiology, biomarkers & prevention」での記述を推奨した。

### ・補足

会議録は投稿論文より迅速性において優れているが、会議のみの発表で終わる情報も多いため、文献入手が困難な場合が多い。その上表記のされ方がまちまちであり惑わされることが多い。会議録の場合、論題から検索することは難しい。会議名を特定することが何より重要であることを学んだ。

### ・情報源

- 1) American Association for Cancer Research[internet]. <http://www.aacr.org/default.aspx/> [accessed 2009-02-03]
- 2) PubMed[internet]. <http://www.pubmed.gov/> [accessed 2009-02-03]
- 3) NACSIS Webcat[internet]. <http://webcat.nii.ac.jp/> [accessed 2009-02-03]
- 4) Saito D, Boku N, Fujioka T, et al. H.pylori and gastric premalignant conditions: Concurrent session joint AACR-international Society of Cancer Prevention session international clinical trials. Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2005;14(11pt2):2805s.

(朝日大学図書館 村瀬由紀子)

## 事例 NO.33

### BMJ誌のWeb版を主体とした誌面への移行： 2008年下半年以降の動向

#### ・質問

BMJ誌の論文を引用しようと思うのだが、最近のBMJ誌は書誌情報が従来と異なっているようだ。どのようにしたらよいか？

[学内者、口頭受付、2009年5月]

#### ・調査の経緯

BMJ誌はすべての記事に、引用する際の書誌情報が記載されており、その表記についての問い合わせであった。早速、冊子体で受け入れたばかりの最新号(vol.338

No.7699)を確認したところ、すべての記事に「Cite this as BMJ 発行年;号:BMJ独自の論文番号」の表記があった(図1)。従来は「誌名;発行年:ページ」(図2)であり、書誌情報の記載内容の変更を確認することができた。なお、このBMJ独自の論文番号と記事の掲載順とは相関がなく、

Cite this as: *BMJ*  
2009;338:b784  
doi: 10.1136/bmj.b784

図1. 最新号の書誌表記

*BMJ* 2008;336:1482-6  
doi:10.1136/bmj.a137

図2. 従来の書誌表記